

平成 20 年 3 月 18 日



クルー重量に関する ガイド(ORC-International, ORC-Club 共通)

1)2009 年 クルー重量申請制限に関する変更

Declared 申告クルー重量は 2007 年までは 555Lb もしくは 0.65 Default クルー重量以上ならびに 1.2 倍 Default クルー重量以内 と規定されていたところ
2009 年以降 範囲の規定を削除 どのような数値を申請しても良い事になりました。

注1) **ORCレーティングシステムは クルー体重を正確に、公平に レーティングに反映する システムです。**

注2)クルー重量の範囲(制限)を削除した理由について、ORC は以下のように述べています

クルー重量の最大制限値 1.2 倍 Default は ワンデザインクラス規程で(その他ローカルな競技で)その 1.2 倍制限を越えてクルーを 搭載を許可する場合があります、世界的に既に 制限を越えた申告を受け付けてきた。 実際 VPP は 1.2 倍制限を越えた申告を 正しくレーティングに評価し証書上には申告値を 印刷してきた。

今まで、1.2 倍制限を越えた申告は 証書上“illegal” ではあるものの、Validity は保証された。又 0.65、1.2 倍制限を超えた申告を受け付けても 正確にRatingに反映するため、艇に特別の Advantage を 与える事が無い事など、以上の経過を鑑み クルー重量範囲制限を削除した。

2)2009 年における Crew Weight の評価の変更

Sailing DSPL は申請されたクルー重量にかかわらず、Default クルー重量で計算する

Righting Moment の計算は 申請されたクルー重量を艇のルールに配置した最大の Moment を仮定する。

注)

クルー重量について の IMS Regulation 2007 セクション 204 記載は削除されましたが、以下の記載は有効ですので厳守ください。

ヨットがレースに出場する場合、クルーの総体重が計測証書に記載されている最大クルー重量を超えないことを確認するのは、そのヨットのオーナーの責任である。クルーの体重は軽装(LIGHT STREET CLOTHES)で計測される。

もし、超過していた場合は計測証書は自動的に失効する。

規定されていない場合においても、クルー体重制限は 競技期間中において遵守されている必要があり、必要に応じて計測される場合がある。

クルー重量 について(ORC の解説概略)

例えば、Default クルー重量以上の申請を行う場合、Sailing Trim は Default で計算され事、又 Righting Moment は申請クルー重量で計算されるため、一般的に強風域でのレーティングに影響(数値が下がる)がでる、逆に Default より少ない申請を行った場合、逆の効果が予測される。

(いずれにせよ、クルー重量申請のレーティングへの影響は風速域などによって変わるため、一概には損得の判断が難しいところ、単純には表せない。世界の多くは ORC-I ORC-C も含め Default を選択する艇が多い。クラブレースなどで多くの搭載を考える場合は あらかじめクルー重量を多めに申請しておく必要はある(クルー体重 Limitによる証書のValidity)。